

## 基本参加費用

	早期割引価格(9/30前切) 国際線ビジネスクラス利用	通常価格(10/1～) 国際線ビジネスクラス利用
日本能率協会法人会員	2,400,000円/1名	2,800,000円/1名
上記会員外	2,600,000円/1名	3,000,000円/1名

### 基本参加費用に含まれるもの

- \*航空運賃 日本航空ビジネスクラス利用  
羽田空港→サンフランシスコ空港、サンフランシスコ空港→羽田空港
- \*宿泊費(ホテル全5泊、一人部屋利用)
- \*現地国内交通費
- \*現地法人訪問経費
- \*食費
- \*通訳費
- \*添乗員、現地係員費
- \*事務局費
- \*事前研修会費用
- \*Silicon Valley - New Japan Summit 参加費

### 含まれないもの

- \*日本国内交通費
- \*出入国を含めて団体行動以外の単独行動を取る場合の追加料金
- \*航空・傷害・損害・疾病保険(別途ご加入ください。)
- \*自由行動時の飲食費

### その他

- \*ファーストクラス及びエコノミークラスを希望される方につきましては下記金額を上記参加料へ合算ください。
- ・ファーストクラス利用 基本参加費用へ1,000,000円追加
- ・エコノミークラス利用 基本参加費用より600,000円引き

## 参加要領

- 最少催行人員 8名
- 定員 20名
- 本視察団の同行者 事務局員(日本能率協会職員)、添乗員、現地通訳、現地係員が同行いたします。
- 参加申込方法
  - 所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、主催事務局あてご送付ください。
  - 申込書と引き換えに請求書をお送りいたしますので、指定口座へお振込みください。
  - 内部決済の関係で、申込手続きが遅れる方は、その旨早めに主催事務局へご連絡ください。
  - 電話による予約申込もお受けいたします。
  - お申し込みは、主催事務局が申込書を受理したときに成立するものとします。
- 参加申込締切 2017年10月20日(金)
- キャンセル規定 お客様の都合でキャンセルされるときは次の取り消し料を申し受けます。

日本出発日の前日からさかのぼって

- 30日目に当たる日以降(②～④を除く)……基本参加費用の20%
- 20日目に当たる日以降(③～④を除く)……基本参加費用の30%
- 日本出発日の前々日および前日……基本参加費用の50%
- 日本出発日および無連絡不参加……基本参加費用の100%
- 出発後……基本参加費用の100%

## 個人情報のお取り扱いについて

小会では個人情報および特定個人情報の保護に努めております。詳細は小会のホームページにて個人情報等保護方針をご覧ください。(http://jma.or.jp/privacy/)なお、本視察団につきましてはプログラムの性格上、下記の個人情報を訪問先、参加者ならびに旅行手配会社に開示いたします。開示をご希望にならない場合は、ご参加ができません場合がありますので、あらかじめご了承ください。

訪問先・参加者: ①会社名 ②ご所属・お役職 ③氏名

旅行手配会社: 「参加申込書」に記載された全内容

## お問い合わせ先

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋 14階  
 一般社団法人日本能率協会 経営人材センター  
 Silicon Valley - New Japan Summit 公式視察団 事務局  
 TEL:03-3434-1410 / FAX:03-3434-3593  
 E-mail:njs@jma.or.jp

# Silicon Valley - New Japan Summit

## 公式視察団

～日本企業と米スタートアップが出会い  
コラボレーションを生み出す～

企画主催: 一般社団法人日本能率協会

Photo Credit: King of Hearts/Wikimedia Commons/CC-BY-SA-3.0

期 間 2017年11月27日(月)～12月3日(日)

7日間(5泊7日)

訪 問 国 アメリカ合衆国・シリコンバレー域

訪 問 先 Silicon Valley - New Japan Summit  
先進アメリカ・日系企業および研究教育機関

参加対象 (1)シリコンバレー進出もしくはスタートアップとの連携に関心のある企業経営者および役員の方  
 (2)スタートアップとの連携についての決定権を持っている方  
 (3)新規事業の企画や開発に携わっている方  
 (4)オープンイノベーションもしくはM&A戦略に携わっている方

ね ら い (1)企業のオープンイノベーションの推進を促進する機会とします。  
 (2)シリコンバレーを拠点に活動するスタートアップとの接点を持ち、ビジネス連携をとる機会とします。  
 (3)シリコンバレーを通して、日系企業がイノベーションを起こすための仕掛けを考察する機会とします。  
 (4)シリコンバレーの実情とめまぐるしく変化する現地事情について学ぶ機会とします。

運 営 組 織 一般社団法人日本能率協会  
スタンフォード大学 アジア太平洋研究所  
Ishin USA

URL http://jma-inspection.com/

# 公式視察団日程案

## 事前研修会

本視察団では事前研修会を予定しております。日程等の詳細につきましては、ご予約およびお申込み頂きました方へ追ってご案内いたします。

- ①研修日時: 2017年11月初旬  
 研修 10:00~17:00  
 懇親会 17:00~18:00
- ②研修会場: 東京都内会議室(調整中)

## 現地訪問日程

現在下記日程にて視察団を予定しております。

日数	月/日	発着地/都市名	行動予定(時間は現地時間)	宿泊地
1	11/27(月)	羽田空港⇒ サンフランシスコ空港 ⇒ホテル	成田発 17:00 サンフランシスコ着 9:15 講演 15:00~16:30 <b>AZCA</b> 代表取締役社長 石井 正純 氏	シリコンバレー 近郊
2	11/28(火)	Silicon Valley - New Japan Summit Day1	<b>Day1 日本企業向けセッション</b> ・基調講演 ・日米企業の協働事例の紹介 ・パネルディスカッション など	同上
3	11/29(水)	Silicon Valley - New Japan Summit Day2	<b>Day2 日米コラボレーションセッション</b> ・日米企業の協働事例の紹介 ・スタートアッププレゼンテーション ・スタートアップとの商談会 など	同上
4	11/30(木)	シリコンバレー近郊	視察① AM 企業訪問① 視察② PM 企業訪問②	サンフランシスコ 近郊
5	12/1(金)	シリコンバレー近郊	視察③ AM 企業訪問③ 視察④ PM 企業訪問④	同上
6	12/2(土)	ホテル⇒ サンフランシスコ空港	サンフランシスコ発 11:00	機内
7	12/3(日)	羽田空港着	成田着 15:15	

※上記内容は訪問先の事情等により今後変更されることもございますので、あらかじめご了承ください。

最新情報はこちらのサイトよりご覧ください。 URL: <http://jma-inspection.com/>

## 2016~17年シリコンバレー視察プログラム実績

### 団体訪問先

Cisco Systems, d school, GE Digital, Gilead sciences, IBM, OneD Material, Otherlab, Plug & Play Tech Center, SAP, SRI International, Stanford University, TOYOTA RESEARCH INSTITUTE, Timbak2, Wil, 500 Startups 他

### ゲスト講演者

AZCA 代表取締役社長 石井正純 氏  
 アスタミューゼ 代表取締役社長 永井歩 氏  
 コニカミノルタ 取締役会議長 松崎正年 氏  
 コマツ 取締役会長 野路國夫 氏  
 Stanford University Research Scholar 榎田健児 氏  
 TOYOTA RESEARCH INSTITUTE CEO Gill Prott 氏  
 ChatWork 代表取締役 山本敏行 氏  
 TP Partners Managing Director 立野智之 氏  
 東京大学大学院 工学系研究科 教授 森川博之 氏  
 Yamaha Motor Ventures & Laboratory Silicon Valley CEO 西城洋志 氏 他

# Silicon Valley - New Japan Summit 2017

URL: <http://svs100.com/event2017-sv/>

## シリコンバレー オープンイノベーションサミット

「Silicon Valley - New Japan Summit」は、シリコンバレーと日本をつなぐオープンイノベーションサミットです。シリコンバレーで活躍するスピーカーを招待し、オープンイノベーションの最新情報や日米企業の連携事例などのトークセッション、米スタートアップによるピッチを開催。本サミットを通じて、日本企業のオープンイノベーションの促進、シリコンバレースタートアップの日本展開に貢献します。

### 日本企業と米スタートアップが会い コラボレーションを生み出す場

#### 1 日米コラボレーションに特化

「米国と日本企業のコラボレーション」に特化したBtoBイベント

#### 2 有望スタートアップとの商談

アジア展開が現実的なシリーズB以降の有望スタートアップが参加

#### 3 招待参加者とのネットワーキング

招待有料制として開催することで、クオリティを担保



**日時** 2017年11月28日(火)・29日(水) 2日間

**会場** スタンフォード大学 Arrillaga Alumni Center

**会場** 500名 ※想定参加者は日本の大手事業会社(4割)、米スタートアップ(4割)、ベンチャーキャピタル他(2割)

**参加者** ・シリコンバレーのスタートアップ ・日本の事業会社 ・日米投資家  
 ・日米メディア ・スタンフォード大学関係者(研究者、学生)

**URL** <http://svs100.com/event2017-sv/>

### 参加スタートアップ

**業種** IoT / ビッグデータ / フィンテック / エドテック / メディア / Eコマース / ヘルスケア / ドローン / エンタープライズソフトウェア / 広告 / マーケティング / ロボティクス など

**コラボレーション内容** 業提携 / 投資・M&A / 新サービスの共同開発 / アジア・米国進出の支援 / ハイロケットユーザー

**参加スタートアップ** 日本展開を考えるスタートアップ(参加企業の平均資金調達\$6000万)  
 最新情報はこちらのサイトよりご覧ください。⇒ URL: <http://svs100.com/event2017-sv/>

### 運営組織

#### 一般社団法人日本能率協会

企業マネジメントに関する専門団体として1942年に設立。経営革新の推進機関として、企業における課題解決の支援を実施している。米国では日系企業がイノベーションを起こすための仕掛けづくりを目的に活動。

#### スタンフォード大学アジア太平洋研究所

スタンフォード大学におけるアジア太平洋地域をテーマにした研究機関。榎田健児研究員がプロジェクトリーダーを務める。日本企業のシリコンバレー活用をテーマにしたプロジェクト「Stanford Silicon Valley New Japan Project」も運営。

#### Ishin USA

日本発のメディアグループ。ベンチャー企業をテーマにした雑誌「ベンチャー通信」「Tech通信」などを発行。米国ではシリコンバレーのスタートアップ取材する「The SV Startups 100」を運営。